

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け などによる故障及び損傷
 - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
 - (ホ) 本書のご提示がない場合
 - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
 - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
 - (チ) 一般家庭用以外(例：業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

保証書

持込修理

商品名	2.1ch スピーカーシステム	★お買い上げ日： 年 月 日
型番(品番)	ASP-520N(03-2063)	保証期間:本体1年間 (お買い上げの日から)
お客様	★お名前	様
	★ご住所 〒	—
修理メモ		
販売店	★住所 店名 電話	

©HNN 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは

お客様相談室

- 通話料無料
0120-963-006
- 携帯・IP・公衆電話からは
048-992-2735

電話受付

平日 9:00~17:00

※土・日・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は
修理ご相談センター

電話受付 **048-992-3970**
平日 9:00~17:00

※土・日・祝日及び年末年始は除きます

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

03-2063A

(キリトリ線)

AudioComm®

2.1ch スピーカーシステム

ASP-520N

品番：03-2063



保証書付取扱説明書

AudioComm

2.1chスピーカーシステムをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。



電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保存してください。

目次

安全にお使いいただくために……………	1～2	故障かな?と思ったら……………	5
お手入れ方法……………	2	主な仕様……………	5
各部名称……………	3	保証書とアフターサービスについて……………	5
設置と結線について……………	4	MEMO……………	6
ご使用方法……………	4	保証書……………	裏表紙

安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。

注意事項は取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって二段階に表示しています。



警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性がある事を示しています。



注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、けがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある事を示しています。



警告

●日本の家庭用電源で使う

電源コードのプラグは交流100ボルト(AC100V 50/60Hz)につないでください。海外などの異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。

●電源コードやプラグを傷つけない

電源コードやプラグの損傷により火災や感電の原因となります。

次のことをお守りください。

- ・電源コードやプラグを加工したり、傷つけたりしない。
- ・無理に曲げたり、ねじったりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため、熱器具に近づけたり加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜く。

●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。

●雷が鳴りだしたら、電源プラグやコードに触れない

感電の原因となります。

●本機を分解、修理、改造しない

故障、火災、感電の原因となります。

●本機内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると感電や火災の原因となります。

次のことをお守りください。

- ・通風孔から金属や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしない。
- ・本機の上に水の入った容器や小さな金属類(安全ピンやヘアピンなど)を置かない。
- ・水はねのある場所では使用しない。特に窓際で使用する場合、雨天時や降雪時または結露に注意する。

●次のような症状が見つかったら

- ・異常な音やにおいがする。煙が出ている。
- ・内部に水や異物が入った。
- ・本機を落とした。本機の一部を破損した。
- ・正常に動作しない。
- ・電源コードやプラグに傷がある。



●修理のご依頼を

電源を切り、電源プラグを家庭用コンセントから抜き、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターに修理をご依頼ください。故障のまま使い続けると火災や感電、けがの原因となります。

注意

●安定した風通しの良い場所に置く

置き場所や置き方が悪いと、落下によるけが、内部温度の上昇による発火やけが、感電や故障の原因となります。

以下のような場所には置かないでください。

- ・ぐらつく台や傾いた台、毛足の長い絨毯や布団などの不安定な場所に置かない。
- ・ほこりの多いところ、油煙があたるところに置かない。
- ・暖房器具のそばや直射日光があたるなどの高温になる場所に置かない。
- ・布をかけたり、密閉したラックなどの中に入れない。
- ・振動の多いところに置かない。
- ・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所に置かない。

●安全のため、家庭用コンセントより電源プラグを抜く

以下のような場合は、家庭用コンセントより電源プラグを抜いてください。

火災、感電の原因となります。

- ・旅行などで、しばらく本機をご使用にならない場合。
- ・本機を移動する場合。
- ・本機のお手入れをする場合。

電源プラグにほこりがたまると自動発火を起すことが知られています(トラッキング現象)。年に数回、定期的に家庭用コンセントより電源プラグを抜いて電源プラグのほこりを取り除いてください。

お手入れ方法

本機は表面が光沢仕上げになっております。

傷がつきやすいため、本機表面の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。

柔らかい布でも強くふきますと傷がつく場合がありますのでお気をつけください。

汚れがひどい場合は、柔らかい布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせて軽く拭き取ってください。

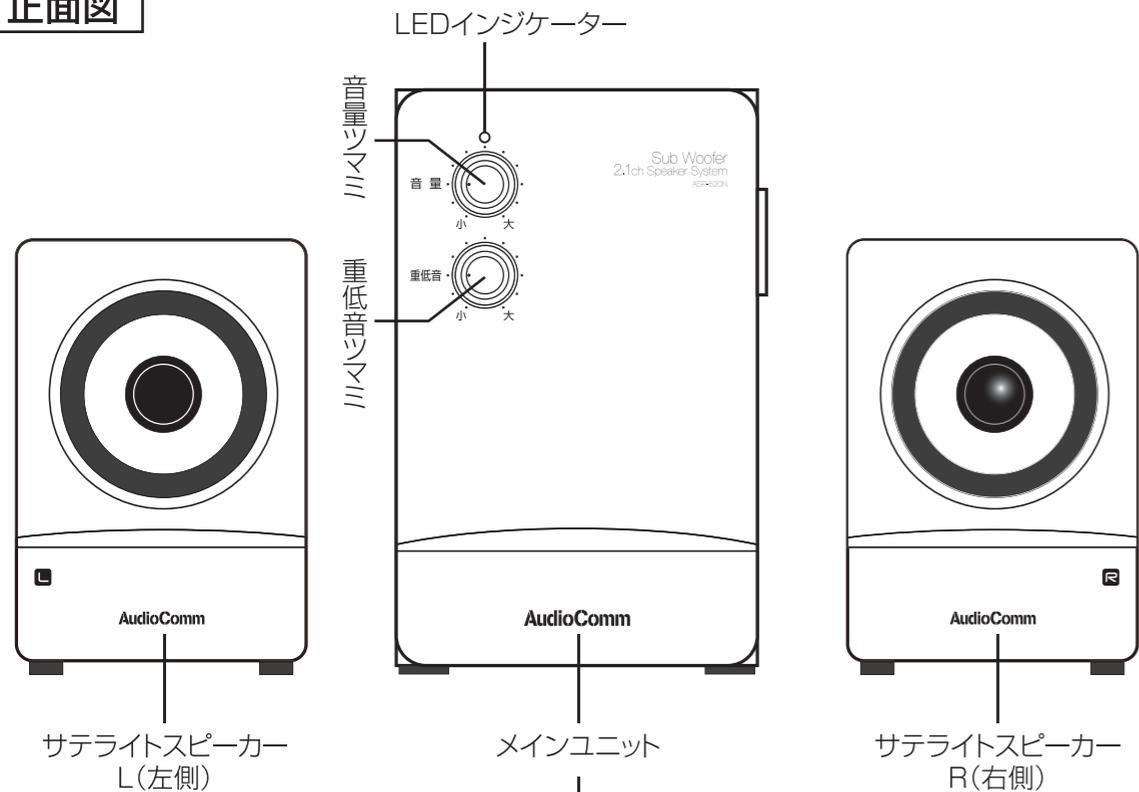
なお、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを痛めますので、絶対にご使用にならないでください。



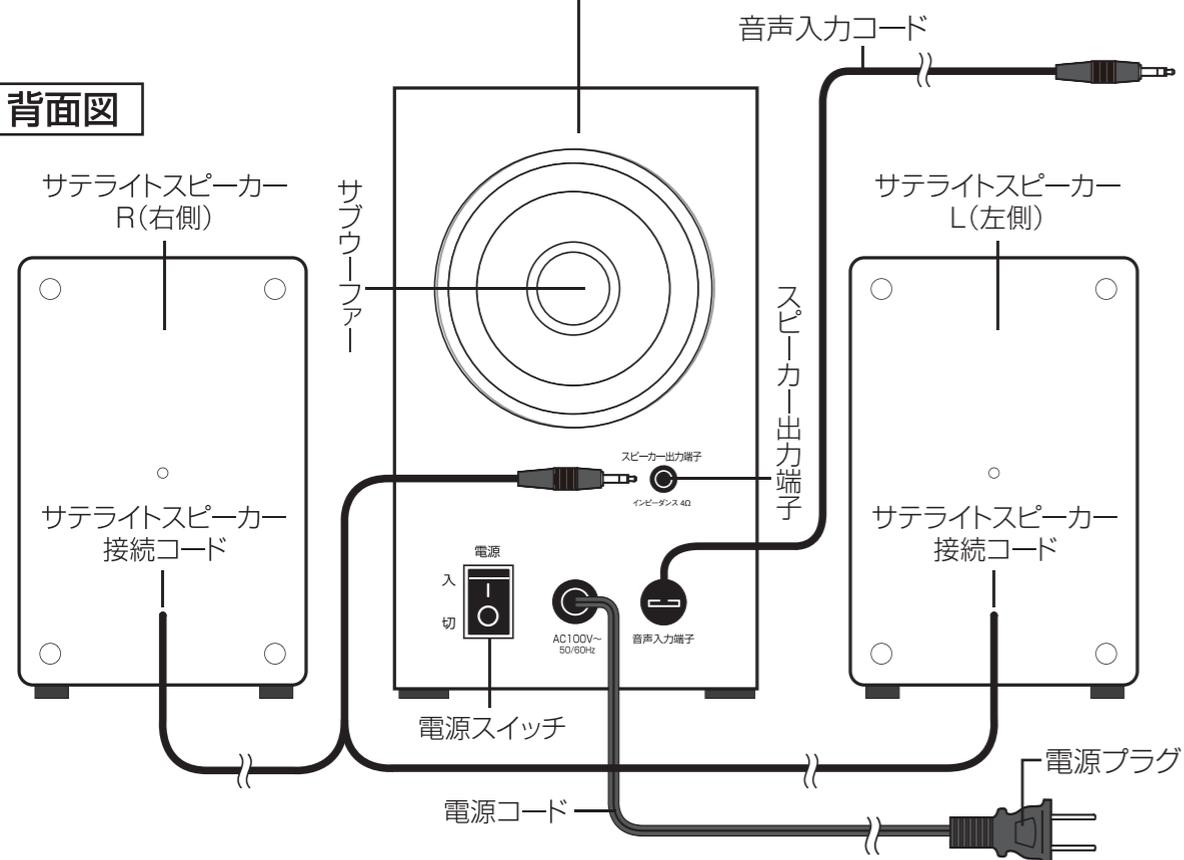
シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しない

各部名称

正面図



背面図



設置と結線について (電源プラグを家庭用コンセントにつなぐ前に行ってください)

■メインユニットとサテライトスピーカーの設置について

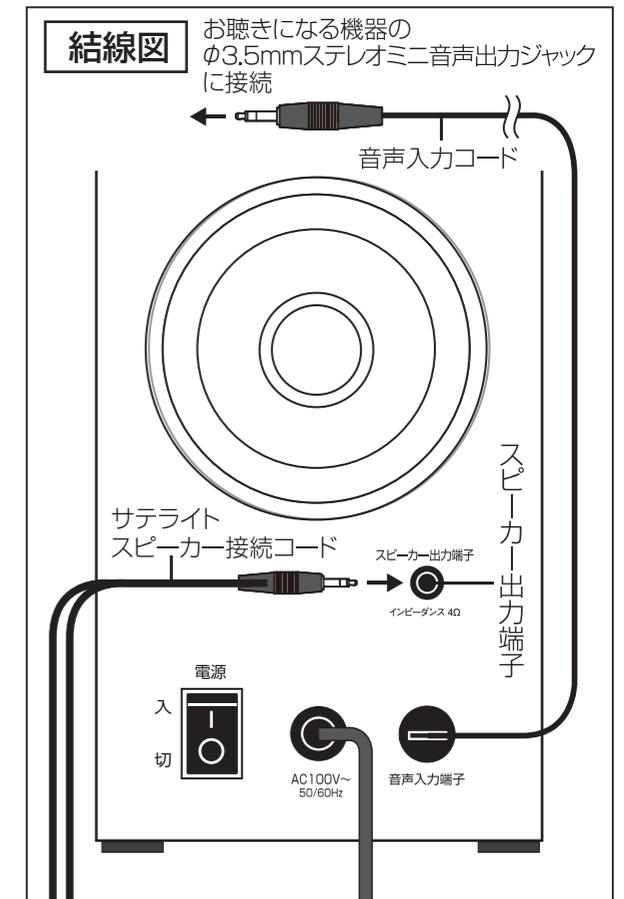
正面から見てメインユニットの左にサテライトスピーカーL(左側・本体正面下部にLの表示があります)、右にサテライトスピーカーR(右側・本体正面下部にRの表示があります)を設置します(前項各部名称の正面図参照)。

■メインユニットとサテライトスピーカーの結線について

メインユニット背面にあるスピーカー出力端子にサテライトスピーカー接続コードを接続します(右図参照)。

■メインユニットの背面から出ている音声入力コードについて

メインユニット背面から、φ3.5mmステレオミニプラグが付いた音声入力コードが出ています(右図参照)。



ご使用方法

- ① 家庭用コンセントに電源プラグを差込みます。
- ② 音声入力コードを、お聴きになるAV機器の音量を絞った状態で、φ3.5mmステレオミニ音声出力ジャックに接続します(上図参照)。
- ③ メインユニット背面にある電源スイッチを「入」にします(LEDインジケーター点灯)。
- ④ お聴きになるAV機器の音量と、本機のメインユニットの音量ツマミで音量を調整します。
- ⑤ 本機には重低音調整機能が搭載されており、メインユニットの重低音ツマミで重低音の強調効果をお好みに調整することができます。
- ⑥ ご使用を終える時は、AV機器と本機のメインユニットの音量ツマミを絞り、電源スイッチを「切」にしたあと(LEDインジケーター消灯)、音声入力コードをAV機器から取り外してください。

【ご使用上の注意】

- ※ 本機の上に重い物を置かないでください。
- ※ 電子楽器等で極端に歪んだ信号を大音量で鳴らさないでください。スピーカー破損の原因となります。
- ※ 録音したテープ、キャッシュカード、定期券など、磁気を使用した記録媒体を本機のスピーカー部に近づけないでください。大切な磁気情報に影響を及ぼす場合があります。
- ※ 接続する機器の取扱説明書をよく読み、その指示に従ってください。

